

理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

大人の発達障害について

世の中には運動が苦手な人、歌が苦手な人、皆それぞれに得意不得意があり、いろんな人がいると思います。最近大人の発達障害という言葉を目にするようになりましたが、実は以前からあったことに対して説明がつくようになったという理解が良いかもしれません。発達障害は生まれ持った行動や思考の特性により日常生活に困難を来している状態です。大人になって突然発達障害を発症することはありません。幼少期にすでに発達障害があったのに気づかれず、大人になって一人暮らしを始めたり、就職するなどして自ら考えて仕事をこなすことが求められたりすると、自身の社会適応能力だけではカバーしきれず、発達障害の特性が顕在化してはじめて気づかれるようになったというふうに考えられます。

注意力が持続できずすぐに気が散ってしまう人、不注意によるケアレスミスが多く忘れ物やなくし物が多い人、片付けが苦手な整理整頓ができない人、睡眠や生活のリズムが乱れやすく朝起きられなくてよく遅刻する人、気分がころころ変わる人、黙っていられず一方的に感情的に話してしまう人、好きなことに熱中しやすくお金の管理が苦手な買い物・ギャンブル・アルコールに問題が生じてしまう人、などなどいろんな人がいます。さらには、会話のやりとりや他人の気持ちや意図を理解することが難しい人、そのため指示されたことを理解するのが難しい人、曖昧な表現や比喩や皮肉が苦手な言葉どおり受け取ってしまう人、身振り手振りなど言葉以外のコミュニケーションが苦手な人、年齢に応じた対人関係が築けない人、同じよう

な行動・会話を繰り返す人、予定変更が苦手な臨機応変な対応ができない人、新しい場所や活動は不安な人、自分なりのルールやり方があってこだわりが強く融通が利かない人、音や光など刺激に過敏に反応する人、などなどの特性の人もいます。文字の読み方や形を認識するのが難しく、文章を読むのが苦手な人、マス目にそって字を書くのが苦手な人、計算が苦手な人もいます。発達障害は全か無かといった問題ではなく程度や頻度に凸凹があり、複数の特性を持っている人や、特性はあるもののグレーゾーンの状態で生きづらさを抱えている人もいます。

本人自身と関わる人とが特性を理解し受け止めていることが大切です。失敗しがちで苦手なこと、逆に得意なことなどがあるはずで、特性を理解すれば、日常生活においてできる工夫や対処について考えることができます。例えばスケジュール管理のアプリを使用したりすることなどがあげられます。仕事を選択する際には、適性を十分に考慮することが大変重要になります。

発達障害の人の中には必死になって周りに適応しようと見えない努力を重ねており、他人からは理解されないストレスと疲労を蓄積している人もいます。“障害”とついているとすごく重く感じると思いますが、周囲の人に話してお互い理解しあえることができればよいと思います。社会的適応における困難の解消への理解や個々の強みを生かしてその人らしくいきいきとできる多様性に寛容な社会作りが進むことが期待されます。

満足度アンケート報告

令和5年9月1日～30日の期間、入院患者さんを対象に療養環境に関する満足度アンケートを実施しました。
その結果を皆様にご報告するとともに、今後に役立てたいと思います。ご協力ありがとうございました。

こんなご意見がありました！

一部抜粋



- みなさんがとても丁寧・親切で安心して療養できました
- みなさんいつも笑顔で気持ちよく過ごせました
- 院内の雰囲気がとても良い など

ありがとうございます
これからもご満足いただけるよう
精進してまいります



病院食の味付けをもう少し考えてほしい

限られた食材の中で試行錯誤しております
美味しいと感じていただけるよう
さらなる努力を重ねてまいります



廊下の声・音が病室に響いていた
病室のドアを閉めるなど騒音対策を
行ってほしい。

全部署に周知し静かに安心して
療養いただけるよう改善を図ります

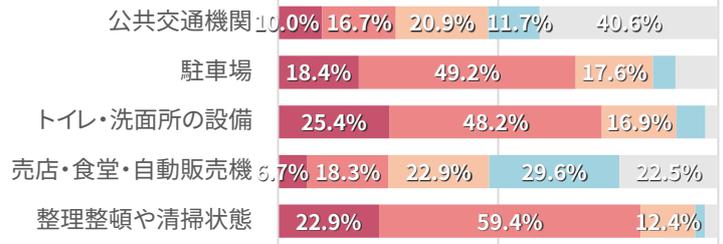


売店・自販機がない

当時、売店改修工事を行っていたため
売店をご利用いただけませんでした
大変ご不便をおかけしました
11月より売店・自販機を再開しております



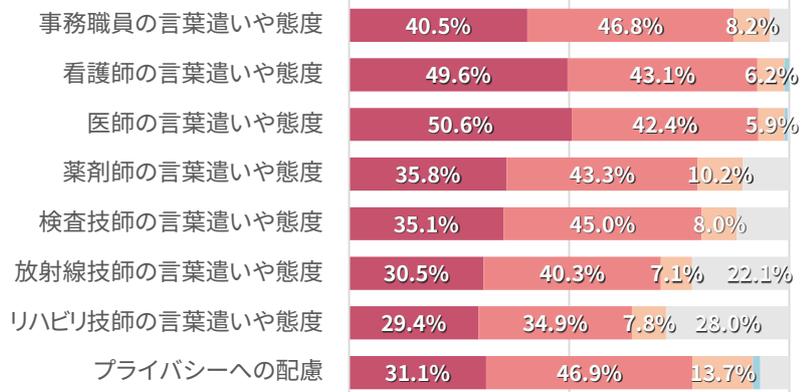
院内施設面について



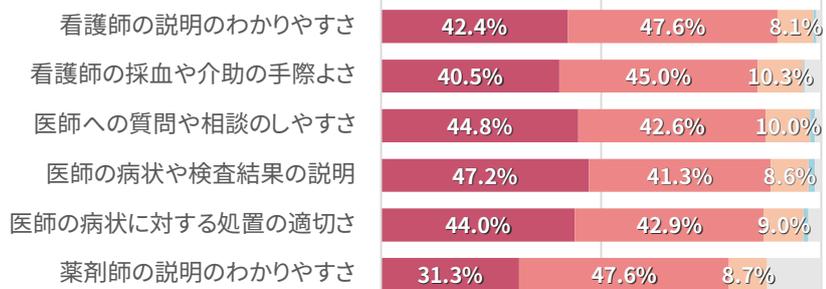
病室環境面について



接遇面について



診療面について



0% 50% 100%

■ 非常に満足 ■ 満足 ■ どちらともいえない
■ 不満・やや不満 ■ わからない・該当しない

MRI装置を更新します

令和6年3月に新型のMRI装置(Philips MR 5300)を導入します。

従来の機器より、詳細かつ高画質な画像を生成するために設計された技術革新が数多く搭載されており、システムの基本性能だけでなく、様々なアプリケーションにより画像診断の信頼性を高めています。

臨床的に難易度の高い複雑なタスクに対しても、SmartSpeed AI(高速化・高画質化技術)などのサポートによる高精度なノイズ除去技術を用いたより高画質な撮像が可能となります。

また、MRI検査時間の大幅な短縮や大口径で圧迫感のない装置設計により患者さんの検査ストレスの軽減に寄与しています。



ホームページリニューアル しました

当院ホームページは、令和6年3月1日にリニューアルいたしました。

前回のリニューアルから10年目を迎え、その間インターネットを取り巻く環境が変化し、モバイル端末に最適化されたデザインが不可欠となりました。

また、今後当院を取り巻く医療情勢も変わっていくことが想定され、それらの変化に柔軟に対応できるデザインとし、病院利用者や医療従事者にとって利用しやすく魅力あるホームページにするため、全面的なリニューアルを行いました。



※ 本画像は公開前時点のデザインのため、公開後のデザインと異なる場合があります。